

令和 6 年度

FD 活動報告書



令和 6 年度 FD 活動報告書 目次

1. はじめに	2
2. FD 委員会の開催	3
2-1 開催状況	3
3. 学生による授業アンケートの実施	4
3-1 実施要項	4
3-2 集計結果	5
4. FD 研修会の実施	9
4-1 研修会の概要	9
5. 授業参観の実施	10
5-1 実施要項	10
5-2 実施結果	10
6. ループリックによる授業評価	11
6-1 取り組みの概要	11
6-2 実施状況	11
6-3 評価表の共有と活用状況	11
7. 令和 6 年度 FD 活動の総括	12

1. はじめに

本学の FD 活動の概要と成果

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
FD 委員長 酒井 純

「令和 6 年度 FD 活動報告書」は、令和 6 年度の岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 FD 委員会が行った FD 活動の概要と成果を学内に報告することで、教員の授業改善に役立ち、教育の質の向上につながることを期待してまとめたものです。

本報告書には、令和 6 年度の FD 委員会の実施状況と主な議題を記し、中心的な活動であった 1.授業アンケート、2.FD 研修会、3.授業参観、4.ループリックによる授業評価の各活動について、教員への依頼や実施案内、質問項目や集計結果並びに実施状況、各種報告書の様式等を掲載しています。

本報告書が、FD 活動のいっそうの充実と教育の質の向上に、ついては学生生活の向上の一助となれば幸いです。

2. FD 委員会の開催

令和 6 年度は、下記のとおり計 10 回委員会を開催した。

2-1.開催状況

開 催 日	主 な 議 題
第 1 回 (R6.4.3)	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 令和 5 年度 FD 活動報告書について <p>確認事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. FD 委員会の目的と業務について2. 令和 5 年度の FD 委員会取り組みについて3. 令和 6 年度 FD 委員会の活動内容について
第 2 回 (R6.5.1)	<ol style="list-style-type: none">1. 令和 5 年度 FD 活動報告書（案）について2. 「学生による授業アンケート」の実施について3. 授業参観の実施について4. ルーブリック評価の実施について5. FD 研修会について
第 3 回 (R6.6.5)	<ol style="list-style-type: none">1. 令和 6 年度 FD 研修会について2. 授業アンケートに基づく自己点検評価について
第 4 回 (R6.8.7)	<ol style="list-style-type: none">1. 令和 6 年度 FD 研修会について2. 授業アンケート結果（速報）について
第 5 回 (R6.9.4)	<ol style="list-style-type: none">1. 令和 6 年度 FD 研修会 開催結果について2. 授業アンケート結果報告について
第 6 回 (R6.10.2)	<ol style="list-style-type: none">1. 自己点検報告書の提出結果について2. 令和 6 年度授業アンケート結果の学科会議提出について
第 7 回 (R6.3.15)	<ol style="list-style-type: none">1. 次年度予算について
第 8 回 (R6.1.8) * メール報告	<ol style="list-style-type: none">1. 次年度予算について2. 授業参観、後期授業アンケート及びルーブリックについて
第 9 回 (R6.2.5) * メール審議	<ol style="list-style-type: none">1. 令和 7 年度 FD 研修会のテーマについて2. 短大の授業アンケート期間延長について
第 10 回 (R6.3.5)	<ol style="list-style-type: none">1. 令和 6 年度 FD 活動報告書(案)について2. 授業アンケート結果について3. 令和 7 年度 FD 研修会について

3. 学生による授業アンケートの実施

令和6年度も前年度に引き続き、授業アンケートを、下記のとおり実施した。なお、実習系授業については、前年度に引き続き、前期・後期ではなく授業終了に合わせて実施をした。

令和5年度に見直したアンケートの設問項目は、こちらも引き続き自由記述項目で学生から多くみられた意見を評価・改善要望に整理・抽出し、教員に共有することで更なる授業改善の一助となるよう努めた。

*実施結果を示す資料を次頁以降に掲載する。

3-1.実施要項

(1) 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的とする。

(2) 実施期間

各期における授業の第13～15週の期間で行う。

前期 6月26日（水）～8月2日（金）

後期 12月16日（月）～2月9日（日）（1月31日までを延長）

(3) 実施する授業

全ての授業科目で実施。

※ゼミナールも同一のアンケートで実施。

(4) 実施方法

アンケートは、ポータルサイトを利用して実施。実習系授業については、Microsoft Forms を利用して実施。

（学生には、「ポータルサイトからアンケートへの協力依頼と入力手順を送信。）

(5) アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

教務課でアンケート集計を行い、各教科の結果及び大学・各学科の平均値を算出する。後日、その集計結果を教員に送付し、各自「授業に関する自己点検報告書」を作成し、教務課へ提出する。本年度は大学・短大ともに100%の提出状況となっている（大学15名／15名（100%）、短大13名／13名（90%）。

3-2.集計結果

(1) 岡崎女子大学子ども教育学部

<前期>

履修者数 1,965 名／回答者数 1,579 名／回答率 82.5%

	設 問	平均 値	
		R6 年度	R5 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていまし たか。	4.75	4.64
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.67	4.60
3	あなたは、この授業で主体的に（学生間で議論をしたり、積極的に質問をした 等）取り組みましたか。	4.66	4.62
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.71	4.63
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.63	4.57
6	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.67	4.62
7	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたりましたか。	4.66	4.59
8	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.63	4.50
9	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、 記述してください。	—	—
	設問全体の平均	4.67	4.60

<後期>

履修者数 2,006 名／回答者数 1,372 名／回答率 70.1%

	設 問	平均 値	
		R6 年度	R5 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていまし たか。	4.68	4.69
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.61	4.65
3	あなたは、この授業で主体的に（学生間で議論をしたり、積極的に質問をした 等）取り組みましたか。	4.67	4.69
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.66	4.71
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.58	4.65
6	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.61	4.69
7	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたりましたか。	4.63	4.66
8	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.59	4.62
9	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、 記述してください。	—	—
	設問全体の平均	4.63	4.67

(2) 岡崎女子短期大学幼児教育学科第一部

<前期>

履修者数 2,108 名／回答者数 1,623 名／回答率 76.2%

設 問	平均 値	
	R6 年度	R5 年度
1 教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.74	4.67
2 教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったです。	4.66	4.62
3 あなたは、この授業で主体的に（学生間で議論をしたり、積極的に質問をした等）取り組みましたか。	4.65	4.54
4 教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.68	4.60
5 教員は、受講者の理解度を確認しながら進めっていましたか。	4.66	4.54
6 あなたは、この授業に満足しましたか。	4.67	4.57
7 あなたは、この授業について、さらに学びを深めたりしましたか。	4.64	4.51
8 あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.62	4.49
9 この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均	4.67	4.57

<後期>

履修者数 1,895 名／回答者数 1,451 名／回答率 71.6%

設 問	平均 値	
	R6 年度	R5 年度
1 教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.84	4.66
2 教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったです。	4.73	4.58
3 あなたは、この授業で主体的に（学生間で議論をしたり、積極的に質問をした等）取り組みましたか。	4.75	4.61
4 教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.70	4.62
5 教員は、受講者の理解度を確認しながら進めっていましたか。	4.69	4.55
6 あなたは、この授業に満足しましたか。	4.69	4.57
7 あなたは、この授業について、さらに学びを深めたりしましたか。	4.70	4.53
8 あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.72	4.52
9 この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均	4.73	4.58

(3) 岡崎女子短期大学幼児教育学科第三部

<前期>

履修者数 2,022 名／回答者数 1,527 名／回答率 74.3%

設 問	平均 値	
	R6 年度	R5 年度
1 教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.63	4.55
2 教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.48	4.43
3 あなたは、この授業で主体的に（学生間で議論をしたり、積極的に質問をした等）取り組みましたか。	4.50	4.38
4 教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.51	4.43
5 教員は、受講者の理解度を確認しながら進めっていましたか。	4.44	4.31
6 あなたは、この授業に満足しましたか。	4.47	4.37
7 あなたは、この授業について、さらに学びを深めたりしましたか。	4.45	4.33
8 あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.45	4.32
9 この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均	4.49	4.39

<後期>

履修者数 1,833 名／回答者数 1,167 名／回答率 58.3%

設 問	平均 値	
	R6 年度	R5 年度
1 教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.52	4.57
2 教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.54	4.50
3 あなたは、この授業で主体的に（学生間で議論をしたり、積極的に質問をした等）取り組みましたか。	4.34	4.47
4 教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.48	4.50
5 教員は、受講者の理解度を確認しながら進めっていましたか。	4.53	4.43
6 あなたは、この授業に満足しましたか。	4.46	4.47
7 あなたは、この授業について、さらに学びを深めたりしましたか。	4.44	4.47
8 あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.39	4.45
9 この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均	4.46	4.48

(4) 参考：授業に関する自己点検報告書による改善検討

学生による授業アンケートの結果を基に教員は自己点検報告書を作成し、授業内容の改善に活かしている。「学生による授業アンケート」の実施結果、及び「授業アンケートによる自己点検報告書」の内容は、FD委員会による確認を経た上で、教務課にて学生が閲覧できる体制が整えている。

今年度は、ループリックの活用についての質問項目を追加し、利用したループリックの共有をお願いした。

授業に関する自己点検報告書様式

【授業に関する自己点検報告書】（令和6年度■期）			
所属	<input type="checkbox"/> 岡崎女子大学教員 <input type="checkbox"/> 岡崎女子短期大学 <input type="checkbox"/> 非常勤講師	教員氏名	
授業アンケート	1.授業アンケート結果（自由記述を含む）の分析と評価（担当科目、クラス名を明記する）		
	2.次年度に向けた授業改善の取り組み		
授業参観	3. 授業参観について 授業参観を行った先生は、下記を記入してください		
	参観日	令和 年 月 日 ()	限目
	参観科目		
授業担当			
ループリック	4. ループリックの活用について ループリックを使った評価を行いましたか。 はい . いいえ		
	今後の教育活動のため、ループリックの共有をお願いしております。可能な方は以下、教務課まで送付をお願いいたします。		
	<u>kyoumu@okazaki.ac.jp</u> (様式等は自由です)		

* 提出期限は、前期9月27日（金）、後期3月31日（月）とした。

4. FD 研修会の実施

令和6年度は人権問題委員会と合同で研修会を1回開催した。実施日とテーマ、講師、参加人数は以下の通りであった。

4-1.研修会の概要

「令和6年度 FD 推進委員会・人権問題委員会合同研修会」

1. 目的 令和3年6月に障害者差別解消法が改正され、令和6年4月1日より、全ての大学等において、障がいのある人への障がいを理由とする不当な差別的取扱いの禁止及び障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化された。この研修では、合理的配慮の理解を深めるとともに多様な特性のある学生への対応等、注意を払うべき点について洞察する。
2. 日時 令和6年8月28日（水）10：40～12：10
3. 講師 放送大学 川島聰氏
4. 場所 2301教室
5. プログラム
 - (1) 挨拶及び講師紹介
 - (2) 講演
 - (3) グループワーク
 - (4) 質疑応答
6. 参加者 大学教員 16名
短大教員 13名
非常勤 1名
職員 18名
後日録画視聴希望者 4名

5. 授業参観の実施

令和6年度は授業参観を下記のとおり実施した。

5-1. 実施要項

(1) 実施目的

本学教員が授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的とする。

(2) 実施方法

専任教員・非常勤講師ともに任意実施とする。

ただし、大学教員歴3年未満（令和4年4月以降に本学に着任し、かつ、本学を問わず大学・短期大学の教員としての専任教員経験が3年未満）の短大所属教員は年間1回以上を必須、大学所属教員は年間1回以上を推奨とする。

(3) 参観可能な授業

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学で実施する対面授業

(4) 授業参観の方法

①参観する教員（以下：参観者）は、事前に参観を希望する授業の教員に依頼する

- ・授業内容（シラバス）に基づき、参観する日時を調整する。
- ・授業担当者は授業内容を知らせ、学生に配布する教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。

②参観日

- ・授業担当者は、授業を受講している学生に、参観の実施について伝達する。
- ・参観者は対象授業を原則90分間、参観する。

③参観後

- ・参観者は、「授業に関する自己点検報告書」に授業参観の有無を記載し、提出する。

（提出期限 前期9月27日（金）、後期3月31日（月））

5-2 実施結果

大学5名／16名（31.2%）7件

短大1名／13名（7.6%）1件

非常勤1名／50名（2.0%）1件

また授業参観コメントに示された意見を、教員へフィードバックし、次年度において改善を加えるなど、さらなるFD活動の推進し、教育の質の向上に努めていく。

6. ループリックによる授業評価

令和6年度も、前年度までの取り組みを継続することを目的に以下のとおり取り組んだ。

6-1. 取り組みの概要

(1) 前年度までの経緯と目的

単位の実質化に向けて、シラバスにおける自修時間の明記だけでなく、自修における成果について具体的に測る評価方法が求められている。また、アクティブラーニングにおける学修についても、明確な評価方法を検討する必要があったことから、令和4年度に各授業科目単位におけるループリック評価を実施した。

令和6年度はこの取り組みを継続しながら、学科ないしDPでのループリック評価に向けた全学での情報共有及び検討を開始した。

○ループリック評価における代表的なメリット

- ・ループリック評価では、毎回の授業において評価表の評価軸へ「評価する内容」を定めることにより、授業の目的や到達目標について学生と共有することができる。
- ・教員が求めている到達度が明らかになり、学生の課題や進度における理解について明確に把握することができる。
- ・評価における公平性を示すことができる。

(2) 対象教員

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員。ただし、非常勤講師は任意とする。

(3) 各授業評価のためのループリック評価表作成方法

①「全体（15回）」、「授業1回分」、「授業に向けての予習、復習」等、可能な範囲で設定する。

※各授業科目において、建学の精神→教育目的→DPの流れを把握し、DPと授業科目における到達目標との関連性を明らかにする。

②最低1回分（任意の1科目）は実施する。

6-2. 実施状況

大学 10名／16名 (62.5%)

短大 9名／13名 (69.2%)

非常勤 8名／51名 (15.7%)

6-3. 共有用ループリック提出状況

大学 6名／16名 (37.5%)

短大 3名／13名 (23.0%)

6-4. 評価表の共有と活用状況

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員に対して、教員間で共有し、活用できるように依頼した。提出されたループリック評価表はOWポータル（sharepoint）にアップロードして閲覧可能にしている。

7. 令和 6 年度 FD 活動の総括

令和 6 年度 FD 委員会では前年度の活動を概ね踏襲し、①授業評価アンケート②FD 研修会③授業参観④授業改善のためのループリック評価、の 4 点について意義や方針を検討・確認し、実施しました。以下、各活動について簡単に振り返ります。

学生による授業評価アンケート（5 段階評価）では、大学の平均が前期 4.67（前年度 4.60）後期 4.63（前年度 4.67）、短大の第一部の平均が前期 4.67（前年度 4.57）後期 4.73（前年度 4.58）、短大第三部の平均が前期 4.49（前年度 4.39）後期 4.46（前年度 4.48）という前年度に比較して全体的に少し改善し、高い水準を維持していることが確認できました。各教員が前年度の授業アンケート結果を振り返り、授業改善の努力を重ねた結果であることが推測されます。

今年度の FD 研修会は、人権問題委員会との合同開催となり、「合理的配慮」をテーマに、外部講師による研修を行いました。令和 6 年より施行された改正障害者差別解消法により、障がいのある人への不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供が義務化されたことに伴い、教職員の合理的配慮への理解を深めるため、実際の場面に当てはめて様々な学生へ対応する方法、また注意を払う点について川島聰氏より講演を受けました。また講演後には、少人数のグループに分かれてグループワークを実施しました。グループワークを通じて、「合理的配慮について可能な範囲で対応する必要があることがわかった」等という意見が出されました。

授業参観については、専任教員・非常勤講師ともに任意実施としました。ただし、大学教員歴 3 年未満の短大所属教員は必要に応じて学科長から依頼する場合であること、大学所属教員は年間 1 回以上を推奨することとして実施し、「授業実践の参考になった」などの意見が出されています。

ループリックについては、各教員がそれぞれの授業で活用していることが確認されているものの、積極的な共有はなされていない状況である。今後は、各教員が作成・運用しているループリックを共有し、その上で有効な活用方法について検討を進められればと考えられる。

個々の教員における、授業改善に対する FD 活動の有効性については、授業評価アンケートの点数がさらに上がるかなど、今後の検証が必要と言えます。一方で、各活動における評価や実施率の数値は全般的に高い水準を保っていることから、大学全体として判断すれば、本学の FD 活動は授業改善に寄与し教育の質の向上をもたらしたと推測できます。

今後は、組織として継続する活動と教員個人の自主的な活動との峻別など、FD 活動の方向性、並びに高等教育機関としての教育の質の向上に資する重点的な FD 活動の探究が求められます。引き続き FD 活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年度 FD 委員長 酒井 純